

玉川19 2018 2.22 発行

春号

玉川つばめ通信



題字・イラスト/金子伸子 デザイン/葉田いつみ 発行・編集・執筆/宇野津暢子
 協賛/玉川学園商店会、玉川学園南口商店会、芝生の会、玉川学園地区まちづくりの会
 印刷/レトロ印刷 【お問い合わせ先】nu821@zj9.so-net.ne.jp ☎090-3473-3872
 *玉川つばめ通信19号は3100部印刷し、配布しています。

3年目の玉川つばめ通信です

- 玉川つばめ通信を作る理由は、
- ① なんてたって自由。
 - ② 葉田さんのデザインと金子さんのイラストをはじめて見るときのワクワク感!!
 - ③ その段ボール箱を開けるときのドキドキ感!!
- これを思うと忙しくても「ああ、また作りたい」という気持ちがかくむくくと湧いてきます。もうすぐ本格的な春到来ですね。3年目の玉川つばめ通信を発行できますことに、感謝を込めて。

玉川つばめ通信編集室 フリーライター 宇野津暢子

気になるお店訪問

第19回 玉川学園前駅の大ケヤキが元気だったころ

玉川学園周辺で見つけた!

◆ 玉川学園駅北口には、昨年までケヤキの木がありました。ふたつに分かれた太い幹に葉がこんもり茂り、そのたたくまいから、ハートの木と呼ばれることも。2016年に幹が腐っていることがわかって、2017年7月に惜しまれつつ伐採。現在は木のまわりを囲っていた柵だけが残っています。あのケヤキは、もう燃やされたのでしょうか? そんな疑問をまず、玉川学園町内会の副会長で山口大学名誉教授の徳力幹彦さんに伺いました。

◆ それは無償で? はい、無償です。保管してもらっているのは幹2本と太い枝と根の4つです。いずれ玉川学園のコミュニティセンターが建て替えられたとき、そのケヤキの木で作った椅子やテーブルを共有スペースに置きたいね、なんていう話も出ていますが、まだこれは決定事項ではありません。製作にはお金がかかりますし、今後どうやって費用を工面するか、という話し合いが必要になりますね。

◆ 新しいコミュニティセンターに大ケヤキで作った家具が置かれるなんて、すてきですね。

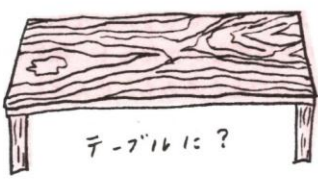
◆ この記事も広報のひとつになる



H.26~27 ハートの木

大ケヤキ82年の一生

◆ 道道路維持課に保管を依頼しました。現在は町田市のリサイクル文化センターで預かってもらっています。ユニティセンターが建て替えられたとき、そのケヤキの木で作った椅子やテーブルを共有スペースに置きたいね、なんていう話も出ていますが、まだこれは決定事項ではありません。製作にはお金がかかりますし、今後どうやって費用を工面するか、という話し合いが必要になりますね。



大ケヤキがコミュニティセンターのテーブルや椅子になるかも? そうなったらすてきです。

◆ そうでしたか。だんだんケヤキのことがわかってきて面白いです。ケヤキが若木だったころの玉川学園についても知りたくなり、小川貫さんにもお話を伺いました。小川さんのおじい様は昭和4年の第一期分譲時から玉川学園に住んでおり、お父様は町田町役場分室をひとりで切り盛り。その後は玉川学園で小川亭(なつかしい!)を経営。

◆ 子どもの頃の駅周辺の記憶で、印象に残っていることは?

◆ 電話交換手がいました。

玉川学園のフリーページ、「玉川つばめ通信」は、お店やまちのみなさまにご購入いただくことで、成り立っています。趣旨にご賛同いただける方 nu821@zj9.so-net.ne.jp (玉川つばめ通信)まで、ご連絡を! 50部500円、100部1000円です。

藍プレナスの1階に1月オープンした「アンフィニティパレエアカデミー」に体験に行きました。ティファニーブルーと白を基調としたスタジオ内はとても優雅。野崎先生の教え方も分かりやすく、またパレエを始めたくまりました!

*今回は紙面の都合上「玉川つばめ通信が置いてある場所」を割愛させていただきました。現在、「玉川つばめ通信」は、玉川学園と町田エリアの40店舗と2家族の方にご購入いただいています。